

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第119号

2018年6月21日
電話3605-5594
http://kabara-tomon
okai.kenwa.or.jp/
mail:kabarashibu@ya
hoo.co.jp

青空のもと・大盛況の住宅デー

健康チェックと相談を行う 血圧が異常値でも病院には行っていない

「夏が来るのが早すぎますね」と言うのがあいさつ代わりに変わった、5月27日（日）綾瀬駅前のハト公園を会場に、東京土建綾瀬分会の「住宅デー」が開催されました。会場を見渡すと公園中央でミニSLが蒸気



を吐いて走り、親子が手を振って歓声を上げています。

また、工作コーナーではノコギリ、金づち、接着剤などを思い思いの作品に挑戦する姿がみられ、にぎやかです。そして飲み物、ポップコーン、焼きソバなどのテントが並び楽しい笑顔がはじけています。

今回の住宅デーでは蒲原診療所とかばらデイサービス看護師さんが、友の会役員と共に会場にきた人たちの健康相談や健康チェックにあたりました。血圧測定では正常な人が多い中で、40歳後半の男性の血圧の下の値が100を越え、心配な人もいました。「いつも職場の健診で異常を指摘されるが病院にはかかっていない」とのこと、看護師から「まだ、若いのだから

一度、受診した方が良くアドバイスを受けていました。また、体脂肪の値が高いご婦人には「食生活や運動」の話などのやり取りがありました。この日、健康チェックで私たちのコーナーを訪れ、チェックを受けた人は37人で、「憲法9条改憲反対」「核廃絶署名」の協力も頂きました。

報告 参加支部役員

日本国憲法の良さを知った 9条改憲を許さない千住集会

千住で9条改憲を許さない集会

5月22日（火）千住にある東京芸術センター21階の「天空劇場」で区民集会在が開かれまし

た。この集会では文化行事として「日本国憲法前文・9条」の群読があり、健康友の会の会員も大勢参加して、現憲法を唱和しました。その後、ミニライブがあり、南米の情熱あふれる演奏が披露されました。

講演では9条の会事務局長の小森陽一さんが「9条改憲を許さない」問題提起

を行い、それに沿って他の発言者が演壇に立ち「改憲反対にかけろ思い」を熱く語りました。この発言者の中で20代の女子大生は「まともな政治もしないで、改憲など許せない」と怒りました。また、沖繩から羽田に着いたばかりと言う大学院生は「今、沖繩で県民投票が盛り上がっている」と沖繩の様子を伝えました。

報告 嶺岸宏

また、若手の女性弁護士は「9条に自衛隊が書き込まれると、災害派遣の自衛隊ではなくなる。そして外国で戦争する国になる。貧困な若者が自衛隊しか就職口がなく、その若者たちが戦争の犠牲者になる。このような国にしたくない」と思いを述べ大きな拍手に包まれました。



足立区の無料検診を受けよう

今年度の足立区の特定健康診査がはじまりました。受診券などが入った黄色い封筒が5月の連休明けから順次発送されています。40歳以上の国民健康保険加入の方と、75歳以上の後期高齢者の方が対象です。受診の際は、封筒に入っている受診券・問診表と保険証が必要です。

有効期間は来年の1月末までです。生活習慣病のチェックに年に一度の健康診断をご活用ください。蒲原診療所でも受診することができます。

蒲原診療所事務局長 若松 弘正

2018年原水禁 世界大会に向けて

募金とバザー用品のお願い

募金の受付・8月10日（金）まで
バザー用品の受付

・7月2日（月）より20日（金）まで
バザーの開催・7月23日～26日まで
売れ残り次第終了

おしゃべりは楽しい 東和のすみれ班で集まり 折り紙しながら健康づくりと語り合おう

5月24日「すみれ班会」に顔を出しました。この日は6人が参加。折り紙をしながらおしゃべりに花が咲きました。「あっちが痛い」「腰も痛い」と言う話が出た後で、「特定健診の書類が送られて来たので、今年ががん検診も受けようと思っている」など病気と健康の話が出ました。古着を仕立て直した着物が披露され「麻とか綿の素材だと着心地が良い」と言う話に発展

し、楽しそうな雰囲気になります。そして「昔のことは良く覚えていてるけど、最近のことは直ぐ忘れる」と誰かが言うとき集まったみなさんがうなずきます。その様なおしゃべりを楽しみながら、指先と頭と目が同時に動く手作業を繰り返します。作品が完成するとお茶を飲みながら作品の品評会です。

報告 嶺岸 宏



福島の被災者と心一つに 帰還者は15%

放射能汚染から子供の健康を守る会・総会が開かれました。5月20日(日)東和住区センターで第6回総会が開催されました。

この総会では原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表の伊東達也さんをお迎えし



「福島からの報告」と題して講演を頂きました。この中で伊東さんは

「避難解除されたが、帰還させている人は15%に過ぎない」こと。「生活再建、健康を守る長期の対策が何よりも必要」と強調しました。

会場の参加者からも質問があり「自然エネルギー」に関すること、「被爆者手帳の交付」「放射線量の測定結果」などについて話題になり関心が集まりました。

この日は放射能汚染から子供の健康を守る北部の会から3名の方が来賓として参加し、意見の交換もできました。また、この日は関係する他団体の集会在足立区各地で開催される条件の中、私たちの総会には60人の参加があり、運動の継続を合言葉に総会を終了することが出来ました。

報告 放射能汚染から子供の健康を守る会 事務局 吉田信一

かばらデイサービスの新人を紹介



参加し、聴覚障害者の社会参加の運動などに協力しています。あとは、ビールが好きです。「飲みに行こう」と誘われるとすぐについて行きます。中年女性の酒飲みはあまり美しくなさそうなので、今年の夏は節酒しようと思心に決めていきます。みなさま、よろしくお願います。

昨年9月に新宿在宅サービスセンターより異動してまいりました山本かなです。

毎日、太鼓橋のような飯塚橋を自転車で超えて通っています。

趣味はこれといって特にありませんが、お休みの日には聴覚障害者の集まりや学習会にかばらデイサービスセンター 山本かな

足立本部総会

足立健康友の会は去る5月20日(日)第17回総会を千住介護福祉専門学校で開催いたしました。

この総会には足立にある北千住、西、北、かばらの各支部から出席された会員を始め各病院・診療所の管理者やご来賓の方々など計63人が出席。2017年度に226人の方々を新しく友の会に迎え入れた仲間増やしをはじめとする17年度活動総括と、それを踏まえての18年度活動方針を全会一致で確認しました。そして18年度の友の会活動を進める新役員を選出しました。

足立健康友の会は去る5月20日(日)第17回総会を千住介護福祉専門学校で開催いたしました。

この総会には足立にある北千住、西、北、かばらの各支部から出席された会員を始め各病院・診療所の管理者やご来賓の方々など計63人が出席。2017年度に226人の方々を新しく友の会に迎え入れた仲間増やしをはじめとする17年度活動総括と、それを踏まえての18年度活動方針を全会一致で確認しました。そして18年度の友の会活動を進める新役員を選出しました。

この中で石川院長は「柳原・千住地域での医療・介護の実践は全国的な関心を集めた貴重なものであり、これから考える上での原点」と言う示唆にあふれた講演でした。ただ話を分かりやすく解説するスライドが手違いで使えず、再度の講演を望む声がありました。報告 かばら役員会